

健康診断実施項目について

問診票記入

治療中、既往歴、自覚症状や、生活習慣について記載してください。記載された内容は、医師の診察や総合判定に反映されます。

健診受付

問診票が記入された受診票で受付いたします。その際に、尿容器と事前申込者のみ便容器を回収します。

身体測定

身長・体重を測ります。肥満が誘因となる病気には、高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、動脈硬化、脂肪肝、痛風などさまざまなものがあります。

視力測定

視力計を用いて測定します。裸眼もしくは矯正にて視力を測定しますので、メガネ等必ずご持参ください。

血圧測定

血圧が高くても症状が少ないために気付かず治療開始が遅れ、脳卒中や心臓病になるまで放置している人が少なくありません。血圧は循環器系の状態をあらわす大切な指標ですが、体調や環境によって差が大きいため、落ち着いた状態で測定してください。

採 血

採血項目には、肝機能、腎機能、膵機能、糖尿病、痛風、貧血、全身状態、B 型肝炎検査等があり、採血により多くの情報がえられます。

尿検査

尿中の蛋白、糖、潜血を測定します。おもに、腎臓から、尿路(腎盂、尿管、膀胱、尿道)の疾患と、糖尿病の有無を調べます。

聴力検査

オーディオメーターにて、1000 ヘルツと 4000 ヘルツ2種類の純音を用いて、測定します。この検査により、会話音や日常の中で聞こえる音に対する聴覚の状態を判断します。

心電図検査

不整脈、脚ブロック、狭心症、心筋梗塞などの病気を診断します。心臓の筋肉が収縮するときに出る電気を、胸や手足につけた電極でとらえ、波形で表したものです。心臓肥大、不整脈、心筋梗塞、冠動脈硬化などの中でも自覚症状が少ない病気が見つかることがありますので、若年者も測定する必要がある検査項目です。

腹囲測定

内臓脂肪の蓄積によっておこるメタボリックシンドロームを判定に活用します。おへそ周囲径と、血圧異常、脂質異常などを基に判定いたします。

医師診察

医師が、結膜(貧血、黄疸など)、リンパ節、甲状腺、心音、呼吸音、四肢の浮腫、皮膚の観察、その他問診内容や自覚症状を参考に受診者の状況に合わせた診察を致します。血液検査などとは違って、直接的な観察になりますので、必ず受診をお願いいたします。

レントゲン検査

肺炎・肺結核・肺がんの早期発見、診断を目的としています。肺気腫・肺線維症などの呼吸器疾患や心臓の大きさ(心胸比)・大動脈の状態を知る上でも重要な検査です。

オプション検査項目

ABC 検診

(ペプシノゲン検査)

胃粘膜の委縮の程度を調べる検査で、委縮が進むと委縮性胃炎や胃がんなどの病気になりやすいといわれています。そのため胃の状態をチェックする検査です。

(血中ピロリ菌抗体検査)

ヘリコバクターピロリ菌は、胃の中に住み着き、慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんの原因とされています。感染していると血中にピロリ菌抗体が検出されますが、ピロリ菌除菌治療中の方は、正しい結果が得られませんのでご注意ください。

※2つの検査を同時に行うことで胃がんのリスクを判定できます。

便潜血検査

大腸がんは初期の段階で出血を起こすことがあるため、微量な出血の有無を調べる検査で、大腸がんの早期発見につながります。

腫瘍マーカー検査

(CEA)

大腸、胃、膵臓、肺などのがんで高値を示します。

(CA19-9)

膵臓がん、胆のうがんなどで高値を示します。

(PSA)

前立腺がんのスクリーニング検査として有用です。血尿などが現れる前の早期発見が大切で、異常が出た場合は精密検査が必要です。

(CA-125)

卵巣がん、子宮がんのスクリーニング検査として使われております。子宮内膜症、子宮腺筋症、乳がんでも上昇することがあり、健康な人では妊娠初期、月経時、閉経前に数値が上昇することがあります。

甲状腺ホルモン検査

(TSH)

甲状腺ホルモンの分泌を調整するホルモンで甲状腺機能を鋭敏に反映しております。

(FT4)

高値は、やせ、手の震え、頻脈は亢進症の可能性があり、低値は、倦怠感、むくみ、体重増加など、低下症の疑いがあります。

骨密度検査

骨の密度を骨密度と呼び、減少すると、骨が弱くなり骨折しやすくなります。骨密度の少ない状態を骨粗鬆症といいます。骨粗鬆症は、男性よりも女性に圧倒的に多い疾患です。検査は今の年齢ごとの平均値比較が可能ですので、今の年齢での骨密度を知る機会になります。

C型肝炎ウイルス検査

慢性肝炎と診断された60%がC型肝炎によるものです。肝硬変、肝がんに行進しやすいC型肝炎にかかっているかを検査します。

眼底検査

目の網膜や、血管の状態を検査します。特に高血圧、糖尿病、動脈硬化などの程度を、血管そのものを直接的に観察できる唯一の検査です。その他、緑内障、黄斑変性症など視力障害となる疾患も見つかる検査です。

心臓機能検査

心臓から分泌されるホルモンで、心臓に負担が出ると高値を示します。

受診者区分別検査項目・検査料一覧表

□の項目を受診してください。

受診者区分 (年齢は年度末時点)	該当する健診 【受診票のコース名】	検査項目と各単価																			基本検査料合計	基本検査料本人負担金①	追加検査料本人負担金②	本人負担金合計
		身体測定 (身長・体重)	視力測定	血圧測定	血液検査	尿検査	聴力検査	心電図検査	腹囲測定	医師診察	胸部レントゲン検査	※1 問診 (特定健診医師判定・ メタボ判定)	A B C 検診	大腸がん検査 (便潜血反応検査)	腫瘍マーカーセット	甲状腺ホルモン検査	骨密度検査	C型肝炎検査	眼底検査	心臓機能検査 (BNP検査)				
甲種・乙種組合員 (39歳以下)	健康診査1 【スクリーニングA(本人)】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆ Bプラン	☆ Cプラン	☆ Aプラン		☆ Cプラン			☆ Cプラン	11,050	無料	実費	① +	
甲種・乙種組合員 (40歳以上75歳未満)	健康診査1 【特定A(本人)】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆ Bプラン	☆ Cプラン	☆ Aプラン		☆ Cプラン		●	☆ Cプラン	11,050	無料 ^{※3}	実費		
甲種・乙種家族 (39歳以下)	健康診査2 【スクリーニングB(被扶養者)】	○		○	○	○					☆ Cプラン	◇	☆ Bプラン	☆ Cプラン	☆ Aプラン		☆ Cプラン		☆ Cプラン	4,570	無料	実費		
甲種・乙種家族 (40歳以上75歳未満)	健康診査3 【特定B(被扶養者)】	○		○	○	○		●	○	○	☆ Cプラン	○	☆ Bプラン	☆ Cプラン	☆ Aプラン		☆ Cプラン		●	☆ Cプラン	6,380 ^{※2}	無料 ^{※3}		実費
後期高齢者組合員 (75歳以上の会員)	健康診査2 【国保外・後期高齢】	○		○	○	○		△				◇	☆ Bプラン	☆ Cプラン	☆ Aプラン		☆ Cプラン			☆ Cプラン	4,570	無料		実費
歯科医師国保未加入者	【国保外・後期高齢】																				実費	実費		実費

表の見方

○印：基本検査項目です。無料^{※3}で受診できます。基本検査以外の項目は有料ですが任意で追加できます。

☆印：オプション検査料半額補助の対象年度時は、検査料の半額を組合が負担します。

●印：血圧が受診勧奨判定値以上の方や、問診等で不整脈が疑われる方のうち、診察の際に医師の判断があった場合は心電図検査無料です。

心電図検査また血圧や血糖検査が受診勧奨判定値以上の方のうち、診察の際に医師の判断があった場合は眼底検査無料です。

◇印：基本検査項目に腹囲測定を追加するとメタボ判定が行われます。メタボ判定料は組合が負担します。(腹囲測定分は本人負担)

△印：本人負担金無料です。

※1 腹囲測定、血圧測定、血液検査の数値を元に自動的にメタボ判定が行われます。(別途検査をするわけではありません。) 特定健診対象者の場合、メタボ判定に加え、問診(特定健診質問票)の回答及び腹囲測定、血圧測定、血液検査等の数値を元に特定保健指導レベル判定が行われます。

※2 特定健診判定料 220 円を含んだ金額です。

※3 **特定健診必須項目(網掛部分)に1つでも欠落があると全額自己負担となります。**

また、組合専属保健師による健康相談・助言等を同意しない加入者については、基本検査料に一部負担金を徴収いたします。(一部負担金：健康診査1▶2,500円 健康診査2▶1,000円 健康診査3▶1,400円)

オプション検査料半額補助について

オプション検査項目の一部をセットプランとし、検査料の半額を年度ごとに順次補助しています。

